

<活動内容>

令和元年6月1日(土)浦添市てだこホールにて、初めての試みとして総会前に医療事業部会の研修会を開催しました。

今後、ますます、地域包括ケアシステム構築が進む中、病院栄養士だけではなく、各事業部会の皆さんと共に必要な知識とスキルを習得する目的として「高齢者の栄養管理・腸管メンテナンス」と題し、ネスレの鹿島徹氏にご講演いただきました。栄養スクリーニングとアセスメントの重要性、高齢者における栄養素、サルコペニア、リハビリテーションと栄養、水分管理、腸の免疫システムなど、基本的な内容から最新情報まで盛り沢山の内容でした。これからも、各事業部会の皆さんも含め一緒にスキルアップに繋がればと思います。

また、医療事業部会では、昨年引き続き2回目の医療情報交換会を10月8日(金)栄養士会館にて行いました。情報交換会では医療事業部会の活動報告及び栄養ケアステーション事業への参加協力依頼、また、日本栄養士会との診療報酬改定関連等の統一課題について多くの意見が出されました。2020年3月に新年度の診療報酬改定(案)について、九州リーダー研修会での情報を伝達するため、情報交換を行う予定でしたが、残念ながらコロナウイルス感染防止のため中止となりました。

今後も、日本栄養士会からの診療報酬改定関連等の統一課題等については、情報を共有しながら各施設との連携を図り、繋がりを深め、活動できる医療事業部会を目指していきます。

<研修会・活動報告>

・研修会:6月1日(参加者69名)

講師:ネスレ日本株式会社 鹿島徹氏

「高齢者の栄養管理・腸管メンテナンス」

・栄養ケアステーション電話相談担当:14回(医療事業部)

・九州地区医療事業部リーダー研修会:2回参加:8月31日9月1日(沖縄県)  
2月11日(福岡県)?

・医療事業部情報交換会:10月8日(参加:10施設)

スローガンは

「地域包括ケアシステムをより具体的に進めるため、

栄養管理体制の強化と情報提供書の発行及び関係機関・多職種との連携を図ろう」